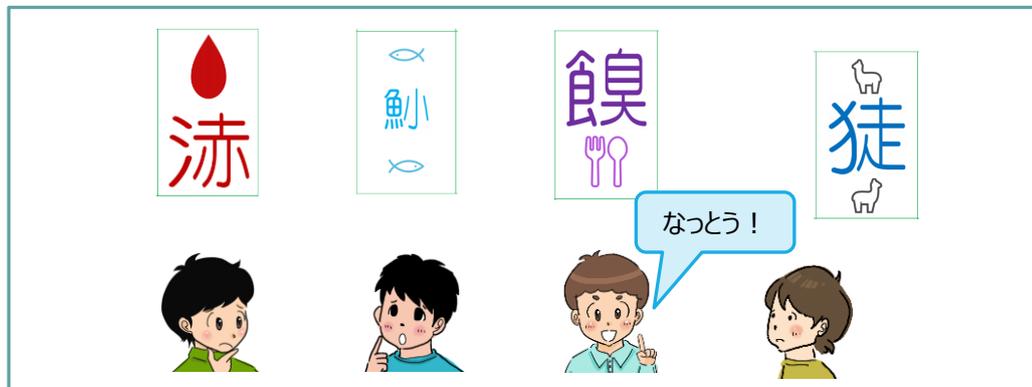


C206 あたらしい漢字



カードにかかれたかんじ（ほんとうはないじ）のよみかたをれんそうするゲームです。



★ あそびかた

すべてのカードをうらがえしてひとまとめにしたたばを、まんなかにおく。

① スタートのひとをきめる

さいしょのひとをきめ、つぎからはとけいまわりにじゅんばんをまわす。

② かんじをよむ

じゅんばんがきたら、まんなかのたばから、いちまいめくり、おもてむきにおく。（みんながみえるようにする）

- ・はじめてのじのばあい：じゅんばんのひとがよみかたをきめて、いう
- ・すでにでてきたじのばあい：ぜんいんがよみかたをさげぶ

さきにさけんだひとがかち。そのカードをもらえるよ。
くわしいルールはどうがをチェック！

まんなかのカードがなくなるまで、②をつづける。
さいご、てもちのカードが おおいひとがかち！



くわしいルールは、つぎのページいこうに のっているよ！ おうちのひとと、いっしょによんでね。

C206 あたらしい漢字

ゲームの概要

カードに描かれた漢字（実際には存在しない字）の読み方を連想するゲームです。

勝負のつけ方

最後に手持ちのカードが一番多い人が勝ちです。

C206 あたらしい漢字

内容物

カード



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚



3枚

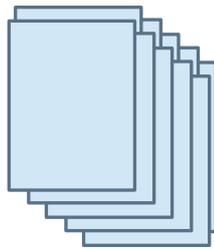
合計 52枚

C206 あたらしい漢字



準備

全てのカードを裏返してひとまとめにした束を、子供たちの真ん中におきます。



全てのカードを裏返しにして、おく。

C206 あたらしい漢字

遊び方

- ①スタートの人を決めましょう。
- ②スタートの人から時計回りに、1人ずつ以下のことを続けます。
 - ・裏返しのカードの束から、1枚カードをめくります。
 - ・めくったカードを全員に見えるように表向きに置きます。

はじめての漢字の場合

カードをめくった人は、
カードの漢字から連想した
読み方を言います。
めくったカードは、流します。

例：

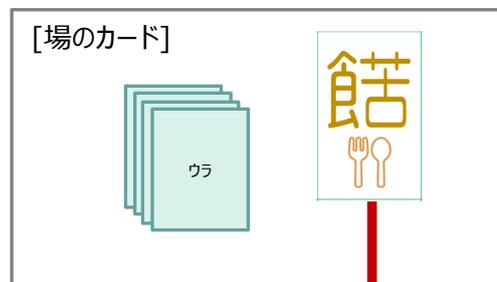


ゴーヤ

既に出てきた漢字の場合

全員でその漢字につけら
れた読み方を叫びます。
最初に叫んだ人が、その
カードをもらえます。

例：



ゴーヤ！

最初に叫んだので
1枚、もらえる



C206 あたらしい漢字

遊び方

おてつき

こんな時はおてつきです。
手持ちのカードを全て流しましょう。

- 既に出てきた漢字に、
他の読み方を言って
しまった

例：

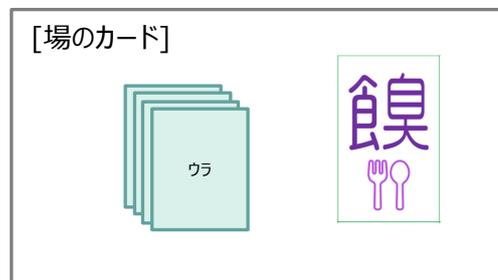


まちがえて、他の読み方を言ってしまったので、
手持ちのカードは全て流す

コーヒー！



例：



自分の番でないのに、横から
読み方を言ってしまったので、
手持ちのカードは全て流す

なっとう！



真ん中の裏返しのカードの束が全てなくなるまで②をつづけます。
さいご、手持ちのカードがいちばん多い人が勝ちです。

C206 新しい漢字



ゲームのコツ、プレイヤーへの支援

- ・順番の人がカードをめくる際、全員で手拍子と共に「あたらしい漢字かな？」などの掛け声をしてからめくると、テンポがよくなり盛り上がります。
- ・順番の人が新しい読み方を言った後、読み方をつけた理由を聞くと、各プレイヤーの知識や考えを共有する事ができます。
- ・読み方を付けるのが難しい場合は、「ケモノへんに走る ということは、走る動物といえは？」などと誘導してください。
- ・短時間で終わらせたい時は、枚数を減らして遊んでください。
- ・小さい子供には、3枚1セットの神経衰弱として使う事もできます。



アレンジ（案）

- ・予備カードを用いて、特別な意味のあるカードを作ります。
（例）手へんに全：今までに流されたカードを全てもらえる
手へんに交：右隣の人と手持ちのカードを全て交換する
など
- ・漢字カードの種類を増やします。